2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 エキサイトホールディングス株式会社 上場取引所 す コード番号 5571 URL https://www.excite-holdings.co.jp/

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 西條 晋一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO (氏名) 石井 雅也 (TEL) 03 (6450) 2729

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高			営業利益		営業利益		益	親会社株主 する四半期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
2024年3月期第1四半期	1, 815	_	102	_	81	_	53	_		
2023年3月期第1四半期		_	_	_	_	_	_	_		
(注) 与托利米 2021年2日	#B ## 4 m 14 #B	Λ 10		0/\ 001	20年0日地位	4 m 1/ #0	エモ	П /		

(注)包括利益 2024年3月期第1四半期 △10百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 —百万円(—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
2024年3月期第1四半期	11. 31	10. 88
2023年3月期第1四半期	_	<u> </u>

- (注) 1. 当社は、2023年3月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期 の数値及び2024年3月期第1四半期の対前年同四半期の増減率については記載しておりません。
- (注) 2. 当社株式は2023年4月19日付で東京証券取引所スタンダード市場に上場しております。2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の計算においては、新規上場日から当第1四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

(- / X=11/1/2X / / / / / / / / / / / / / / / / / /			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5, 825	3, 288	56. 4
2023年3月期	4, 550	2, 022	44. 4
(参考) 自己資本 2024年3	月期第1四半期 3,2	84百万円 2023年	3月期 2,019百万円

2. 配当の状況

- : HD 1100										
		年間配当金								
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末								
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭					
2023年3月期	_	0.00	_	0.00	0.00					
2024年3月期	_									
2024年3月期(予想)		0.00	_	0.00	0.00					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

								(70-32/3/1	O (V) 101/01/01/10/17/
	売上	高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7, 650	1.5	630	1.3	610	2. 2	455	0. 2	93. 36

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2. 当社は2023年4月18日を払込期日とする公募増資により普通株式900,000株、2023年5月17日を払込期日とする 第三者割当増資により普通株式135,000株、新株予約権の行使により1,110株を発行しており、その影響を考慮 して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)、除外 —社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	4, 932, 650株	2023年3月期	—株
2024年3月期1Q	—株	2023年3月期	—株
2024年3月期1Q	4, 695, 545株	2023年3月期1Q	—株

- (注) 1. 当社は、2022年12月9日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式部うかつが行われたと仮定して、「期末発行済株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。
- (注) 2. 当社は、2023年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期 第1四半期の期中平均株式数については記載しておりません。
- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確 定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。

○添付資料の目次

1. ≝	当四半期決算に関する定性的情報2
(1)	経営成績に関する説明2
(2)	財政状態に関する説明2
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2. 🛚	9半期連結財務諸表及び主な注記
(1)	四半期連結貸借対照表4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項
	(継続企業の前提に関する注記)8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
	(セグメント情報等)8
	(収益認識関係) 9
	(重要な後発事象)9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ行動制限が緩和されつつあるものの、足もとでは、物価上昇等を通じた企業収益や家計の圧迫が懸念されております。

このような環境のもと、当社グループは「両利きの経営」を成長戦略に掲げ、プラットフォーム事業及びブロードバンド事業のユーザー数拡大による「既存事業の成長」を実現しながら、その収益基盤を活用したSaaS・DX事業への積極投資による「新たな事業の柱の構築」、M&Aによる「事業ポートフォリオの強化」を図り、持続的な成長を目指しております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、カウンセリングサービス(プラットフォーム事業)やブロードバンド事業を堅調に成長させながら、新たな事業の柱を構築するためにSaaS・DX事業への先行投資を実施してまいりました。また、M&A BASE(㈱を連結子会社化し、M&Aアドバイザリー・仲介事業に新規参入するなど「事業ポートフォリオの強化」にも努めてまいりました。その一方で、メディアサービス(プラットフォーム事業)においてGoogleの検索アルゴリズムのロジック変更によりページビューが減少し、同サービスの売上高及び営業利益に悪影響を及ぼしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,815,249千円、営業利益は102,897千円、経常利益は81,885千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は53,109千円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(プラットフォーム事業)

プラットフォーム事業には、「エキサイト電話占い」や「エキサイトお悩み相談室」等のカウンセリングサービス、「ウーマンエキサイト」等のメディアサービス、「EMININAL」等のD2Cサービス等が属しております。

当第1四半期連結累計期間は、カウンセリングサービスにおいて、良質な占い師・カウンセラーの獲得に加え、 積極的なプロモーション投資により新規会員の獲得が進み順調に拡大しましたが、メディアサービスにおいて、検 索アルゴリズムのロジック変更によりページビュー数が減少しました。

この結果、売上高は754,889千円、営業損益は127,288千円の利益計上となりました。

(ブロードバンド事業)

ブロードバンド事業には、「BBエキサイト」等のISP(注1)サービス、格安SIMの「エキサイトモバイル」等のMVNO(注2)サービスが属しております。

当第1四半期連結累計期間は、「BBエキサイト」を中心としたISPサービスが堅調に推移したことから、売上高は923,458千円、営業損益は161,365千円の利益計上となりました。

- (注) 1 Internet Service Providerの略で、公衆通信回線等を経由して契約者にインターネットへの接続を提供する事業。
- (注) 2 Mobile Virtual Network Operatorの略で、自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信事業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業。

(SaaS·DX事業)

SaaS・DX事業には、「KUROTEN」や「FanGrowth」等のSaaS事業、見込み顧客の獲得・育成を行う「ウェビナーコンサルティング」やWebシステムの開発・運用を行うDX事業が属しております。

当第1四半期連結累計期間は、「KUROTEN」や「FanGrowth」等のSaaS事業等の立ち上げに伴う先行投資により、売上高は136,901千円、営業損益は38,843千円の損失計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,825,508千円(前連結会計年度末比1,274,701千円の増加)となりました。これは、主に東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う新株発行等による現金及び預金の増加によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は2,537,325千円(前連結会計年度末比9,228千円の増加)となりました。これは、主に未払法人税等の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,288,183千円(前連結会計年度末比1,265,472千円の増加)となりました。これは、主に東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う新株発行よる資本金及び資本剰余金の増加によるものであります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は56.4%(前連結会計年度末比12.0ポイント増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 175, 527	2, 566, 914
売掛金	1, 153, 955	1, 108, 089
棚卸資産	52, 295	40, 70
その他	163, 204	117, 642
貸倒引当金	△44, 658	△45, 222
流動資産合計	2, 500, 324	3, 788, 123
固定資産		
有形固定資産	235	19
無形固定資産		
のれん	570, 639	561, 48
その他	681, 376	722, 55
無形固定資産合計	1, 252, 016	1, 284, 04
投資その他の資産		
投資有価証券	740, 248	675, 32
その他	124, 728	144, 56
貸倒引当金	△66, 744	△66, 74
投資その他の資産合計	798, 232	753, 15
固定資産合計	2, 050, 483	2, 037, 38
資産合計	4, 550, 807	5, 825, 50
負債の部		
流動負債		
買掛金	771, 913	751, 76
未払法人税等	7, 286	39, 44
その他	608, 897	597, 19
流動負債合計	1, 388, 097	1, 388, 40
固定負債		
長期借入金	1, 140, 000	1, 148, 91
固定負債合計	1, 140, 000	1, 148, 91
負債合計	2, 528, 097	2, 537, 32

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100, 000	738, 251
資本剰余金	892, 362	1, 530, 590
利益剰余金	1, 082, 658	1, 135, 768
株主資本合計	2, 075, 020	3, 404, 610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△55, 845	△120, 173
その他の包括利益累計額合計	△55 , 845	△120, 173
非支配株主持分	3, 534	3, 745
純資産合計	2, 022, 710	3, 288, 183
負債純資産合計	4, 550, 807	5, 825, 508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位:千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日
	(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1, 815, 249
売上原価	973, 778
売上総利益	841, 470
販売費及び一般管理費	738, 573
営業利益	102, 897
営業外収益	
受取配当金	4
その他	48
営業外収益合計	52
営業外費用	
支払利息	2, 656
上場関連費用	17, 813
その他	594
営業外費用合計	21, 063
経常利益	81, 885
特別損失	
その他	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	81, 885
法人税、住民税及び事業税	47, 828
法人税等調整額	△19, 340
法人税等合計	28, 487
四半期純利益	53, 397
非支配株主に帰属する四半期純利益	288
親会社株主に帰属する四半期純利益	53, 109

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

	(単位:千円)
	当第1四半期連結累計期間
	(自 2023年4月1日
	至 2023年6月30日)
四半期純利益	53, 397
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△64, 327
その他の包括利益合計	△64, 327
四半期包括利益	△10, 930
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△11, 218
非支配株主に係る四半期包括利益	288

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月19日に東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。株式上場にあたり、2023年4月18日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株発行900,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ554,760千円増加しております。

また、2023年5月17日を払込期日とする有償第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株発行135,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ83,214千円増加しております。

この結果等により、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が738,251千円、資本剰余金が1,530,590千円となっております。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セク		調整額	四半期連結	
	プラット フォーム	ブロード バンド	SaaS • DX	<u></u>	(注)	損益計算書 計上額
売上高		_				
外部顧客への売上高	754, 889	923, 458	136, 901	1, 815, 249	_	1, 815, 249
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	-	_	_	_	_
計	754, 889	923, 458	136, 901	1, 815, 249	_	1, 815, 249
セグメント利益又は損失(△)	127, 288	161, 365	△38, 843	249, 810	△146, 913	102, 897

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額146,913千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			∧ ⇒1
	プラットフォーム	ブロードバンド	SaaS • DX	合計
売上高				
課金収入	519, 828	904, 998	41, 109	1, 465, 936
広告収入	171, 614	10	_	171, 624
その他	63, 447	18, 450	95, 791	177, 688
顧客との契約から生じる収益	754, 889	923, 458	136, 901	1, 815, 249
その他の収益	_	_	_	_
外部顧客への売上高	754, 889	923, 458	136, 901	1, 815, 249

(重要な後発事象)

(資本金の額の減少)

当社は、2023年6月26日開催の第5期定時株主総会において、資本金の額の減少を行うことを決議し2023年7月31日付でその効力が発生しております。

1. 資本金の減少の目的

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するための経営戦略の一環として、現在の事業規模に応じた適切な税制の適用を通じて財務の健全性を維持し、資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、資本金の額を減少を行うものであります。

2. 資本金の額の減少の概要

(1) 減少する資本金の額

当社の資本金の額を738,251千円から727,974千円減少して10,277千円といたしました。

(2) 減資の方法

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式数の変更は行わず、資本金の額のみを減少し、減少する資本 金の額727,974千円をその他資本剰余金に振り替えるものであります。

3. 日程

(1)	取締役会決議日	5月30日
(2)	株主総会決議日	6月26日
(3)	債権者異議申述公告日	6月28日
(4)	債権者異議申述最終期日	7月28日
(5)	効力発生日	7月31日